

アルツハイマー病による軽度認知機能障害及び 軽度の認知症の新薬レカネマブ（レケンビ®）治療開始について

アルツハイマー病の新しい治療薬（原因物質であるアミロイドβの脳内蓄積を減少させる）が、2023年12月20日に発売となりました。当院でも、この薬を使用する体制が整いましたので治療を開始しました。当薬剤は厚生労働省が定めた[最適使用推進ガイドライン（外部リンク）](#)を守って使用する必要があります。

①はじめに外来予約をお願いします。

予約電話番号 093-203-2227

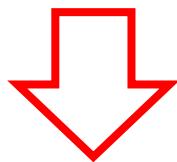
「レカネマブ（レケンビ）希望」

「アルツハイマー病の治療薬希望」などとお伝え下さい。



担当者が、脳神経外科外来の予約をとります。

本薬剤の投与対象はアルツハイマー病による軽度認知機能障害及び軽度の認知症に限定されていますので、アルツハイマー病以外の認知症、アルツハイマー病であっても認知症の進行している方は、受診の結果投与対象外と判定される場合があります。投与対象の可能性があり、投与を希望される場合は必要な検査を受けていただきます。



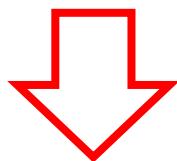
②レカネマブ（レケンビ®）投与条件を確認するための検査

脳へのアミロイドβの蓄積が認められること

腰椎穿刺による髄液を採取するバイオマーカー検査とアミロイドPET検査があります。

脳MRI検査で副作用リスクの高い異常がないこと

検査結果を総合的に検討しレカネマブ（レケンビ®）投与の対象かどうかを判断します。



③レカネマブ（レケンビ®）の投与

最初の投与は副作用の確認のため入院で行います（1泊2日）

それ以降は2週間毎に来院して外来で点滴で投与します。

点滴の時間は1時間30分程度です。

投与開始から半年程度は副反応（脳の浮腫や出血）を生じる可能性があるため定期的な脳MRI検査が必要です。



福岡新水巻病院 病院長